

連日蒸し暑い日が続いていますね。小学校や中学校が夏休みに入り、公園でばったり兄弟に出会う・・・そんな季節になりました。ご家族でお出かけする計画を立てている方も多いのではないのでしょうか。夏にしか出来ない貴重な経験を大切にしたいですね。保育園でもこの時期ならではの遊びを安全、安心のもと経験できるようにすることを第一に考えていきたいと思ひます。

～新型コロナウイルス感染症について～

7月に感染者が急増し、いつどこで感染してしまうかが分からないような現状です。保育園のクラスターに関しても連日耳にするようになりました。そんな中、つくも保育園が開所出来ているのは保護者の皆様が早めの受診やお休みにご協力して下さっているからこそ！と感謝しております。保育園としても消毒や換気を徹底していきますが、保護者の皆様にも引き続きご協力いただき「チームつくも」としてこの状況を乗り越えていきたいと思っております。

《換気のポイント》

大事なことは空気に淀みがないことです。室内に空気の流れを作ること、新しい空気を取り入れること、室内の空気を強制的に排気することを職員で共有し、各保育室の見直しを行いました。ぜひ、ご家庭でも意識してみてくださいね。

園長 高橋 梢

ほし

はじめての水遊びでは、環境の変化にびっくりして泣いてしまう子もいれば、水の冷たさに動じずばしやばしやと感触を楽しむ子もいました。また、保育室でも涼を感じられるよう、保冷剤やウォーターマットの玩具に触れて遊んでいます。ぷよぷよした感触やひんやりした冷たさを楽しんでいるところ。涼しい日は、ベビーカーで園外周辺や公園へ出かけ、散歩をしています。アジサイやアサガオ等季節の草花を保育者と一緒に眺めたり、手を伸ばして触ってみようとしていたりして、散策を楽しみました。咳や鼻水等の風邪症状が見られる様子もありますが、汗の始末をしたり、十分な水分補給と休息をとったりしながら、健康的に過ごしていけるよう配慮していきたいです。今月も、シャワーや沐浴をして気持ちよく過ごしたり、天気の良い日は一人一人の体調に合わせて水遊びをして水の気持ち良さを楽しんでいきたいと思ひます。

つき

天候や子ども達の体調の関係で、なかなか水遊びができませんでしたが、水遊びをした際には、着替えるときに「何が始まるの？」と、ちょっとドキドキ。タライの水に触れて慣れてくるとスポンジのお魚を捕まえようとしていたり、カップで水をすくってジャーっとしたり♪顔に水がかかっても大丈夫！水の感触を楽しんでいました。また室内でもウォーターマットや保冷剤、寒天遊びなど、冷たさやむにゅにゅ・・・様々な感触を楽しんでいます♪今月も夏ならではの水遊びを楽しめるように環境を整えていきたいと思ひます。今月も感染症予防に努め健康に留意し、休息を十分に取ながら元気に過ごせるようにしていきたいと思ひます。また給食では手づかみ食べをしている子、スプーンやフォークを使って食べようと頑張る子など子ども達の姿に合わせた援助をしながら、「自分で」という気持ちを大切に食育に繋げていきたいと思ひます。

おひさま

泥・水遊びは誰一人裸足を嫌がることなく、水や砂、泥の感触を思い思いに楽しみました。初めはチャブチャブ水を触るだけだった泥・水遊びも、自分にかけてタライに入ってみたりとだんだんダイナミックになっていきました。また、室内では、様々な感触に触れ(片栗粉・寒天ゼリー、小麦粉粘土、氷)で楽しみました。みんなで「大きくなあれ」と水やりをしたキュウリも収穫時期を迎え、何度かキュウリの塩もみを食べる事ができました。自分達で「モミモミ」とお手伝いして食べるキュウリは格別なようで、何度もおかわりする子がいました。今月も、気温を見ながら泥・水遊びや夏ならではの遊びを楽しんでいきたいと思ひます。体調を崩しやすいこの時期、生活リズムを整えながら元気に過ごしていきたいと思ひます。

認定こども園 つくも保育園だより

つくも保育園
〒990-0051 山形市銅町2-19-1 ☎622-7623
http://www.yamagatashishakyo.or.jp/

令和4年8月

お知らせとおねがい

- 以前、れんらっこメールでお願いしました園への電話連絡ですが、玄関受け入れ対応の都合上、8時30分以降の時間帯でのご協力をお願い致します。保護者の皆様にはご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願い致します。
- 連日暑い日が続いております。こまめな水分補給と活動と休息のバランスを取りながら熱中症予防を心がけております。3歳未満児は、給食室で作った麦茶で1日を通して水分補給をしております。3歳以上児は、引き続き水筒の持参をお願い致します。
- 8月24日開催のお誕生会ですが、県内でも新型コロナウイルス感染拡大が収まらない状況のため、今回も園児のみでの開催とさせていただきます。それに伴い、誕生児のお子さんのインタビューの動画(一人ひとり単独での撮影)のみ、データとしてお渡しさせていただきますので、ご希望される方は事前に担任までお声がけください。なお、インタビュー動画は、お話ができるりす組以上を対象とさせていただきますのでご了承ください。
- 10月8日(土)に運動会を予定しております。お仕事のお休み調整等よろしくをお願い致します。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	身体測定					
7	8	9	10	11	12	13
			延長保育締切	山の日	布団持ち帰り	お盆
14	15	16	17	18	19	20
	お盆	お盆	災害訓練			
21	22	23	24	25	26	27
	保護者会費 絵本代 集金袋配布	お茶会 (年長児)	お誕生会 7月、8月、9月 生まれのおともだち		布団持ち帰り	
28	29	30	31	<p><9月の予定> 2日(金) デイキャンプ(5歳児) 12日(月) 交通安全教室(5歳児)</p>		
	給食費振替日					

りす

お部屋のテラスで水遊びを楽しんでいます。タライに水を入れて、ペットボトルジョウロなどで水の感触を味わうことからスタートし、石鹸を削って作った泡を使ってジュースやかき氷づくりをしたり、ハンカチをジャブジャブ洗って洗濯ばさみで止めて干したりと、いろいろな水遊びを楽しむようになりました。今月も引き続き水遊びを楽しみ、子ども達の様子から遊びを発展させて、ごっこ遊びを楽しんでいきたいと思ひます。また、泥遊びや絵の具遊びなど、感触を味わいながら、夏ならではの遊びを存分に楽しんでいきたいと思ひます。水遊びの支度や片付けなどを保育者と一緒にながら、少しずつ仕方を覚えて、自分でもしようとする姿が見られるようになりました。着替えも、ズボンだけでなく自分でシャツを被ってみようとして頑張っています。一人一人の様子を見守りながら、安心して取り組めるような関わりを心がけていきたいと思ひます。また、子どもの様子に合わせてトイレトレーニングも進めていきたいと思ひます。まだまだ暑い日が続いていきます。換気、手洗いうがいなど基本的な感染対策を忘れずに、こまめな水分補給と休息を心掛け、健康に過ごしていきたいと思ひます。

うさぎ

暑い日が続く、園庭での水・泥遊びや2Fテラスでの色水や泡遊びなど、夏ならではの遊びを楽しんでいます。はじめはちよっぴりドキドキしていた子ども達も、徐々に慣れてくると泥水につかって気持ちよさそうに「温泉みたい」と言ったり、水たまりの道を泥しぶきをあげながら走ったりとダイナミックに泥に触れて楽しむ姿が増えてきました。来月は寒天や片栗粉スライムなど、水・泥とはまた違った感触を全身で味わえるような遊びをたくさん取り入れていきたいと思ひます。また、水遊びの準備や汗の後始末の仕方など、担任の話を聞いて少しずつ覚えてきました。自分が困らないためにも、「話を聞くことは大事」そんなところも少しずつ覚えていくところ。シャワーを浴びたり、着替えたり、水分補給をしたりすると「気持ちいい！」そんな経験を積み重ねて、快適に過ごすための術を知っていかれたらと思ひます。

ぼんだ

先月の夏まつりウィークでは、みんなで作った「ぼんだ組」みこしを、力を合わせ、声を合わせ、「ワッショイ！！」と担ぎ、お家の方々にも見てもらうことができました。「また夏まつりあるといいのに～」という声も聞かれ、とても楽しい経験ができたようです。夏の虫に興味津々の子ども達。お部屋のカブトムシや河原で捕まえてきたバッタなど、図鑑を片手に熱心に観察する姿も見られます。園庭やテラスでは、水鉄砲を使って遊んだり、泥遊びもお友達と一緒に水路を作ってみたりと、夏ならではの遊びを楽しんでいます。今月も、水・泥遊びに加えて、泡や絵の具など様々なものを使って、夏の遊びを楽しんでいきたいと思ひます。汗をたくさんかく時期ですが、自分達で気付いてタオルで汗を拭いたり、すすんで着替えをしたりする姿も増えてきました。水分補給や休息をとって、今月も元気に過ごしていきたいと思ひます。

きりん

先月の夏まつりでは、「せっかくやるなら楽しもう！！」という、きりん組の子ども達らしい前向きな思いのもと取り組むことができました。楽しみながら、時に頑張ったり取り組んできたことをお家の方に見てもらった時の、あのキラキラした表情を見て、本当に嬉しく成長を感じた瞬間でもありました。充実感や達成感をみんなで共有できたことも、大切な経験になったことと思ひます。温かい応援、ありがとうございました。今は、戸外での水や泥遊び、泡遊び等ダイナミックに楽しんでいる子ども達。色の混ざり合いや泡の作り方、水や泥の性質など、不思議に思ったり試してみたりしながら楽しい発見ができたらいいなと思ひます。また、温泉作りからの水路あそび、泡遊びからのごっこ遊びなど、遊びの広がりも存分に楽しんでいきたいと思ひます。みんなで育てている野菜や稲は日々の成長が目に見えて分かり、収穫ができたものもありとても喜んでる子ども達です。「これにして食べたい！！」「苦手だけどみんな育てたら食べられそう！！」という思いで決めたものは思い入れもあるようです。せっかく芽生えた思いを大切に、普段なかなか味わえないワクワクするような経験ができるよう、みんなで相談しながら楽しんでいきたいと思ひます。